

## 循環器内科 研究業績 (2017年)

### 学会発表(特別・教育講演、シンポジウムを含む)

- 1
  - ① 金子明弘, 許 正翰, 小笠原大介, 櫻井正人, 植田充典, 宮島 透, 井上祐真(消化器内科), 田中弘教(消化器内科)
  - ② 経皮的冠動脈形成術後に肝血管腫の自然破裂を来した1例
  - ③ 口演
  - ④ 第215回日本内科学会近畿地方会
  - ⑤ 神戸国際会議場
  - ⑥ 2017/3/25
  - ⑦ 経皮的冠動脈形成術の為に抗血小板剤、抗凝固療法を行うことで、肝血管種でも破裂のリスクがあることを考慮する必要がある。
  
- 2
  - ① 許 正翰, 金子明弘, 小笠原大介, 櫻井正人, 植田充典, 宮島 透, 貴島秀行(兵庫医科大学循環器内科)
  - ② 咳嗽により完全房室ブロックを誘発し失神発作を生じた1例
  - ③ 口演
  - ④ 第215回日本内科学会近畿地方会
  - ⑤ 神戸国際会議場
  - ⑥ 2017/3/25
  - ⑦ 咳嗽による失神の原因として、稀ではあるが一過性の完全房室ブロックを考慮する必要がある。
  
- 3
  - ① 小笠原大介, 許 正翰, 金子明弘, 櫻井正人, 植田充典, 宮島 透
  - ② 高度石灰化病変を伴う腸骨動脈狭窄に対してCROSSERとScoring balloonによる段階的なlesion modificationが有効であった1例
  - ③ 口演
  - ④ 第28回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会
  - ⑤ 千里ライフサイエンスセンター
  - ⑥ 2017/3/11
  - ⑦

- 4
  - ① 許 正翰, 小笠原大介, 金子明弘, 櫻井正人, 植田充典, 宮島 透
  - ② 亜急性期下肢動脈閉塞症に対しFogartyカテーテルによる血栓除去術が奏効せず、血管内治療にて救肢に成功した一例
  - ③ 口演
  - ④ 第28回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会
  - ⑤ 千里ライフサイエンスセンター
  - ⑥ 2017/3/11
  - ⑦
  
- 5
  - ① 金子明弘, 奈村夕紀子, 許 正翰, 小笠原大介, 櫻井正人, 植田充典, 宮島 透, 田中弘教(消化器内科)
  - ② リアルタイム Image Fusion 技術を使用し, 安全に心嚢ドレナージ術を施行しえた 3 症例
  - ③ 口演
  - ④ 日本超音波医学会第90回学術集会
  - ⑤ 栃木県総合文化センター
  - ⑥ 2017/5/26
  - ⑦ リアルタイム Image Fusion 技術を使用することで、安全に心嚢ドレナージ術を施行出来る。
  
- 6
  - ① 奈村夕紀子, 金子明弘, 大岡順一, 張木洋寿, 櫻井正人, 宮島 透, 田中弘教(消化器内科)
  - ② 左房内腫瘍が疑われリアルタイムImage Fusion技術を用いることで確定診断に至った一例
  - ③ 口演
  - ④ 日本超音波医学会第44回関西地方会学術集会
  - ⑤ 大阪国際会議場
  - ⑥ 2017/9/23
  - ⑦ CT画像と超音波画像をリアルタイムで比較できるImage Fusion技術により、左房内の異常構造物の確定診断を得た。
  
- 7
  - ① 金子明弘, 奈村夕紀子, 大岡順一, 張木洋寿, 櫻井正人, 宮島 透, 田中弘教(消化器内科)
  - ② AutoRegistration機能によるImage Fusion 技術を使用して心嚢ドレナージ術を施行した一例
  - ③ 口演
  - ④ 日本超音波医学会第44回関西地方会学術集会
  - ⑤ 大阪国際会議場

- ⑥ 2017/9/23
  - ⑦ AutoRegistration機能によるImage Fusion 技術を使用することで、より簡便に心嚢ドレナージ術を施行可能である。
- 8
- ① 門井彰宏, 金子明弘, 奈村夕紀子, 大岡順一, 張木洋寿, 櫻井正人, 宮島 透
  - ② 全身性強皮症による心外膜炎に対し、心嚢ドレナージを施行した一例
  - ③ 口演
  - ④ 第217回内科学会近畿地方会
  - ⑤ 大阪国際交流センター
  - ⑥ 2017/9/16
  - ⑦ 亜急性心筋梗塞の既往ありDressler症候群の可能性も考えられたが、心嚢水の精査から全身性強皮症が原因と診断、原疾患の治療で改善した。
- 9
- ① 奈村 夕紀子、金子 明弘、大岡 順一、張木 洋寿、櫻井 正人、宮島 透
  - ② 上大静脈症候群をきたした上大静脈血栓症に対しアピキサバン単独投与で良好な経過を得た一例
  - ③ 口演
  - ④ 第124回日本循環器学会近畿地方会
  - ⑤ ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
  - ⑥ 2017/11/25
  - ⑦ ICDリードが原因と考えられる上大静脈症候群に対して、アピキサバンの内服のみで症状の軽快及び、画像でも血栓の消退を認めた。
- 10
- ① 金子明弘, 奈村夕紀子, 許 正翰, 小笠原大介, 櫻井正人, 植田充典, 宮島 透, 田中弘教(消化器内科)
  - ② リアルタイムImage Fusion技術を用いることで確定診断に至った深部静脈血栓症の1例
  - ③ ポスター
  - ④ 日本超音波医学会第90回学術集会
  - ⑤ 栃木県総合文化センター
  - ⑥ 2017年5月27日
  - ⑦ リアルタイムImage Fusion技術を用いることでMRVと血管エコーによる深部静脈血栓症の診断がしやすくなる。